

IOI(IOIB)

外国人労働者採用凍結延長に伴う粗パーム油価格高騰、衛生製品需要やスナック食品向け需要が追い風へ

マレーシア | 農産物 | 業績フォロー

BLOOMBERG IOI:MK | REUTERS IOIB.KL

- 2021/6期2Q（10-12月）は、売上高が前年同期比25.5%増、営業利益が同94.1%増、純利益が同66.6%増の増収増益だった。
- プランテーション部門における粗パーム油価格やパーム核油価格の上昇、および関係会社・合弁事業からの持分法投資利益が業績に寄与。
- 外国人労働者採用凍結延長に伴う粗パーム油価格高騰の可能性、および衛生製品需要やスナック食品向け需要の拡大が追い風となる。

What is the news?

2/23発表の2021/6期2Q（10-12月）は、売上高が前年同期比25.5%増の24.54億MYR、営業利益が同94.1%増の2.80億MYR、純利益が同66.6%増の3.55億MYR。プランテーション部門で粗パーム油（CPO）価格およびパーム核油（PK）価格が堅調に推移したことが増収・営業増益に貢献したことに加え、関係会社および合弁事業からの持分法投資利益が同36.7%増の8,500万MYRとなったほか、外貨建て債務に係る為替換算差損益が同11.1%増の9,530万MYRとなったことも純利益増益の主な要因となった。

部門別セグメント利益は以下の通り。①プランテーション部門が前年同期比1.9倍の3.40億MYR。平均CPO価格が同33.2%上昇の2,992MYR/トン、平均PK価格が同42.3%上昇の1,982MYR/トンへ値上りしたことが寄与した。②資源ベース製造部門が同29.1%減の2,120万MYR。デリバティブ金融商品公正評価損益の影響を除く基礎的セグメント利益では、同9.0%減の1.11億MYRだった。油脂化学製品事業の利益率低下、および特殊脂肪製品事業において同社が30%の持分比率を有する関連会社のバンジ・ローダース・クロックラン社からの持分法投資利益の減少が減益に響いた。③その他オペレーション部門が同23.8%減の160万MYRだった。

How do we view this?

上流工程のプランテーション部門は、CPO価格が今年1月に13年ぶりの高値に達した後も引き続き高値を維持する状況の下、会社見通しではパーム油在庫の減少により今年4月まではCPO価格が高値で推移すると想定。今年3月以降にアブラヤシの実の生産回復が見込まれるものの、マレーシア政府による外国人労働者の新規採用の凍結が今年6月末まで延長されたことに伴い、労働力不足深刻化によってパーム油価格の高騰に拍車がかかることで同部門の業績への恩恵となる余地もあろう。

その一方、下流工程の資源ベース製造部門は、CPO価格とPK価格の高騰がコスト増加要因となるなか、油脂化学製品事業で新型コロナウイルスの流行により石鹸や手指消毒剤など消費者向け衛生製品の需要拡大が業績に寄与すると想定される。また、特殊脂肪製品事業では、スナック食品向け需要が巣ごもり消費向けに堅調に推移するほか、新型コロナワクチン接種の普及により欧米中心に一層高まるが見込まれよう。

業績推移

※参考レート 1MYR=26.01円

事業年度	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6F	2022/6F
売上高(百万MYR)	7,414	7,382	7,799	8,756	9,014
当期利益(百万MYR)	3,060	631	600	1,011	1,037
EPS(MYR)	0.49	0.10	0.10	0.16	0.16
PER(倍)	8.65	42.40	42.40	26.50	26.50
BPS(MYR)	1.46	1.48	1.48	1.46	1.53
PBR(倍)	2.90	2.86	2.86	2.90	2.77
配当(MYR)	0.09	0.08	0.08	0.10	0.10
配当利回り(%)	2.12	1.89	1.89	2.36	2.36

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR)	0.10	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	4.24	2021/2/23

会社概要

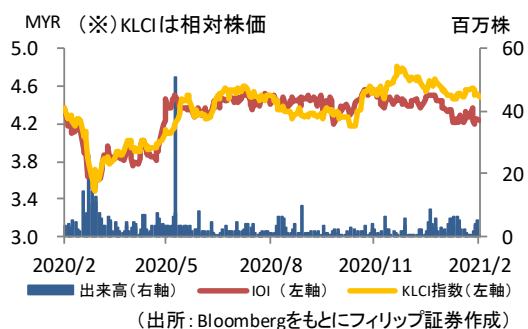
1969年にインダストリアル・オキシジェン・インコーポレーテッド(通称:アイ・オー・アイ)として設立。世界有数の総合パーム油企業で、上流分野のプランテーションから下流分野までパーム油に係るバリューチェーン全体をカバーしている。同社は、主に①プランテーション部門、および、②資源ベース製造部門を営むほか、③その他オペレーション部門を含めた3セグメントから構成される。

上流工程のプランテーション部門は、マレーシアやインドネシアに業界最大級である23万ヘクタール超の農場を有している。実践的な管理手法などから、業界最大のパーム油を産出し、効率的な大規模プランテーションを運営している。

下流工程の資源ベース製造部門は、精製事業、油脂化学製造(オレオケミカル事業、特殊脂肪製品事業といった下流分野を担う。世界の顧客のニーズ対応のため、マレーシア、オランダ、アメリカ、カナダに製造施設を有している。加工製品は、世界60カ国以上に輸出されている。

企業データ(2021/2/24)

ベータ値	0.92
時価総額(百万MYR)	26,809
企業価値=EV(百万MYR)	29,274
3ヵ月平均売買代金(百万MYR)	10.8



主要株主(2021/2)

1.PROGRESSIVE HLDS SDN BHD	49.96	(%)
2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	13.31	
3.AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	7.07	

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。